

残念な「名古屋市高年大学」休講

写真は数年前の名古屋市高年大学鯉城学園案内。「60歳からの学び 仲間づくり 社会参加」と書かれている。

年度初めの予定なら、今日はここ鯉城学園で講義するはずだった。7年ほど前から続けている高齢者向け恒例の講義である。コロナ禍により、早々と今年度の「休講」が決まった。

30～40人の高齢者（講師の私も）が狭い教室で講義を聴くのは、密が避けられない。残念ながら、ことしは我慢しよう。私の担当は地域コースの生徒さん。最近は「名古屋のまちづくりと都市魅力」というテーマで90分講義してきた。写真は何年か前に事務局の方に撮ってもらった講義風景。愚痴聞き地藏さんが写っている。まずは、私の愚痴から話を始めると、くすっと笑いが。



講義は都市魅力に欠けると言われる名古屋について、各種調査や文献から問題に迫る。大阪に転居してからは、大阪と名古屋を比較しながら、都市の魅力を考えていく。写真が一杯のパワーあるパワーポイントと、「名古屋100年」の映像も使って、講義を進めると、すぐに90分が過ぎてしまう。私と同時代の人も多く、伊勢湾台風や東山動物園の映像に関心が集まる。「映像はエイゾー」と言いたくなる。



昨年の講義レジュメの冒頭を紹介しよう。

私の講座のテーマは「名古屋のまちづくりと都市魅力」です。都市の魅力について、まちづくりの視点などから、都市を比較し点検・評価していきます。都市のなかでも、大阪の歴史と現状から、名古屋のまちづくりと都市魅力について考えます。

ご承知のように名古屋の魅力や観光について、厳しい「評価」が公表されています。国内主要8都市で、名古屋は「行きたくない」まちナンバーワン。こんな「評価」を皆さんはどう考えますか。皆さんの感想をお聞きしたいです。

講義では写真や映像なども使いながら、名古屋のまちづくりと魅力を考えていきます。まず、都市の魅力について話し、大阪などと比較して名古屋の現状について評価します。そして、名古屋のまちづくりの歴史を振り返り、私なりに課題を提起します。

当初、ここで講義するのは乗り気でなかったが、教室で真剣に講義を聴いてもらえるので、だんだんと「やる気」が出てきた。それと私の寒いダジャレにすこぶる「反応」がいいのも、「やる気」を引き出してくれる。さて、来年には講義ができるであろうか。

(2020年12月9日)